筑豊・田川 デジタル アーカイブ



伊能忠敬の歩いた 道や炭鉱、鉄道 の歴史、昔の地図など 近世・近代の田川の歴 史コンテンツがイン ターネットでどこでも



閲覧することができます。利用登録は不要です。

筑豊田川デジタルアーカイブ



伊能忠敬企画を開催

伊能忠敬企画を「ふくちのち」で開催。関連書籍も 展示しますので2階和室にぜひお立ち寄りください。





は夢を持ち前へ歩き続ける限り、余生は いらない という言葉を残した伊能忠敬。 地球一周分を歩き、驚くべき精度の日本地図を作 り上げ、偉業を成し遂げます。没後200年にあた る今年、再びその足跡と生き方が人々の心を動か しています。傾きかけていた伊能家を立て直し終 えた忠敬が息子に家督を譲り、19歳年下の天文学 者・高橋至時に師事したのは50歳の時。五十にし て天命を知った忠敬は、事業家から測量家へと身 を転じ、一生のうちに二つの人生を生きるような、 まさに「一身二生」の人生を全うしました。50歳を 過ぎて新境地を開拓し、大事業に挑み、さらに充

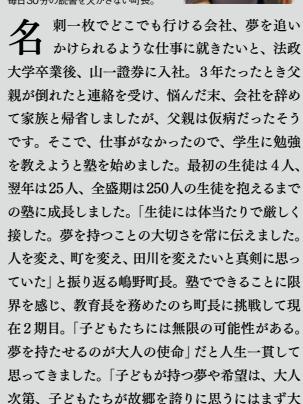


福智町長

嶋野 勝 町長



人生を支え糧となってきた本、 毎日30分の読書を欠かさない町長。





人がそう思えなければならない」と嶋野町長。「だ

塾長時代を振り返り、子どもたちや夢について胸中を語る嶋野町長の



怒らない。

マレーシアでカードを使っての計量の 仕方を教えている西中さん(写真右)。

海外シニアボランティア

西中 純子さん(上野)



ピザ作りやパン作りも 得意な西中さん。セル ビア共和国でも調理を コンテンツにした自立 支援を進めていきます。

際協力機構 (JICA) のシニアボランティ アでセルビア共和国への派遣が今年の夏に 決まった西中さん。定年退職後「目的をもって人生 の余暇時間を過ごしたい」と海外ボランティアに挑 戦。障害者の自立と人権向上のため、マレーシア で2年間、通所施設の職員に指導と支援を行って きました。「あきらめず、投げ出さず、怒らずに国 のモデルになるよう施設を支援していきたい」とセ ルビアでは通所者の収入向上につながるような企 画を立案。「年だからと理由をつけて挑戦しなかっ たら何も始まらないし、世界も広がりません。帰国 後には障害者の余暇時間をサポートする仕事につ きたいです」と将来を見つめ、今を生きています。

JICA (国際協力機構)

日本の政府開発援助 (ODA) を一元的に 行う実施機関として、開発途上国への 国際協力を担うJICA。「信頼で未来を つなぐ」というビジョンを掲げ、海外青 年協力隊や海外シニアボランティアな ど世界約150カ国に派遣しています。